

有害プランクトン情報

(令和4年度 - No. 1)

千葉県水産総合研究センター

東京湾漁業研究所・生産技術研究室

千葉県農林水産技術会議

水産総合研究センターは東京湾でプランクトン調査を行っています。プランクトンの種類や密度によって、魚類のへい死や二枚貝の毒化を起こすことがあるため、毎月、有害プランクトンの出現状況をお知らせします。

- 調査日 沖合
- | | | | | |
|--------|----------|-------|----------|-------|
| 4月 第1回 | 内湾 (8地点) | 4/2-3 | 内房 (7地点) | 4/2-3 |
| 4月 第2回 | 内湾 (8地点) | 4/19 | 内房 (7地点) | 4/20 |
- 貝類漁場内
- | | | | | |
|------------------------------|------------|-------|------------|--|
| 九十九里 4/12, 4/25 (生産技術研究室が担当) | | | | |
| 千葉北部 | 4/12, 4/25 | 木更津北部 | 4/13, 4/27 | |
| 木更津南部 | 4/13, 4/26 | 富津 | 4/12, 4/26 | |

東京湾(内湾)**【有害プランクトンの出現状況】**

- シャットネラ属, シュードシャットネラ属, ヘテロシグマ属, カレニア属は確認されませんでした。
 ※ シャットネラ属は 1 細胞/mL, シュードシャットネラ属は 100 細胞/mL, ヘテロシグマ属は 1,000 細胞/mL, カレニア属は 100 細胞/mL 以上で注意報を発出します。
- 赤潮 (透明度 1.5 m 以下, pH8.5 以上, 酸素飽和度 150%以上) はみられませんでした。

【貝毒原因プランクトンの出現状況】

- 1 麻痺性貝毒原因プランクトン
- 確認されませんでした。
- 2 下痢性貝毒原因プランクトン
- 沖合でディノフィシス アキュミナータがみられました。密度は高くありませんが、注視が必要です。
- ・ 4/2-3 富津沖を除く内湾全域 (沖合) 最高密度はアクアライン北部の 0.9 細胞/mL
 - ・ 4/19 船橋沖～盤洲南部 (沖合) 最高密度は盤洲南部の 3.9 細胞/mL
 - ・ 4/12 千葉北部 (貝類漁場) 密度は 0.05 細胞/mL
 - ・ 4/25 千葉北部 (貝類漁場) 密度は 0.2 細胞/mL
 - ・ 4/26 富津 (貝類漁場) 密度は 0.1 細胞/mL
- 沖合でディノフィシス ロツンダータがみられました。密度は高くありませんが、注視が必要です。
- ・ 4/2-3 アクアライン北部～南部, 千葉沖, 羽田沖 (沖合) 最高密度は千葉沖の 0.4 細胞/mL
 - ・ 4/19 富津沖, 船橋沖～盤洲北部, 羽田沖 (沖合) 最高密度は船橋沖の 0.3 細胞/mL
- 沖合でディノフィシス インファンディブラがみられました。密度は高くありませんが、注視が必要です。
- ・ 4/2-3 アクアライン南部 (沖合) 密度は 0.2 細胞/mL
 - ・ 4/19 内湾全域 (沖合) 最高密度は盤洲北部の 0.6 細胞/mL
 - ・ 4/25 千葉北部 (貝類漁場) 密度は 0.1 細胞/mL

(貝毒情報は千葉県農林水産部水産局漁業資源課のホームページに掲載)

東京湾(内房)**【有害プランクトンの出現状況】**

- シャットネラ属, シュードシャットネラ属, ヘテロシグマ属, カレニア属は確認されませんでした。
 ※ シャットネラ属は 1 細胞/mL, シュードシャットネラ属は 100 細胞/mL, ヘテロシグマ属は 1,000 細胞/mL, カレニア属は 100 細胞/mL 以上で注意報を発出します。
- 赤潮 (透明度 1.5 m 以下, pH8.5 以上, 酸素飽和度 150%以上) はみられませんでした。

【貝毒原因プランクトンの出現状況】

- 1 麻痺性貝毒原因プランクトン
- 確認されませんでした。
- 2 下痢性貝毒原因プランクトン

- 沖合でディノフィシス アキュミナータがみられました。密度は高くありませんが、注視が必要です。
 - ・ 4/20 第2海ほ,大貫沖(沖合) 密度はそれぞれ 0.4 細胞/mL, 0.2 細胞/mL
- 沖合でディノフィシス インファンディブラがみられました。密度は高くありませんが、注視が必要です。
 - ・ 4/2-3 大貫沖(沖合) 密度は 0.05 細胞/mL
 - ・ 4/20 浦賀沖(沖合) 密度は 0.05 細胞/mL

貝毒の被害情報はありません。

(貝毒情報は千葉県農林水産部水産局漁業資源課のホームページに掲載)

九十九里海域(旭〜一宮沖貝類漁場)

【有害プランクトンの出現状況】

- シャットネラ属, シュードシャットネラ属, ヘテロシグマ属, カレニア属は確認されませんでした。
 - ※ 赤潮(透明度 1.5 m 以下, pH8.5 以上, 酸素飽和度 150%以上)は確認されませんでした。

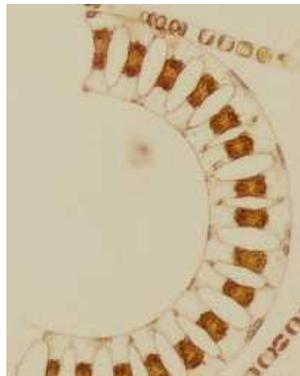
【貝毒原因プランクトンの出現状況】

- 1 麻痺性貝毒原因プランクトン
 - 確認されませんでした。
- 2 下痢性貝毒原因プランクトン
 - 確認されませんでした。
 - 貝毒の被害情報はありませんでした。

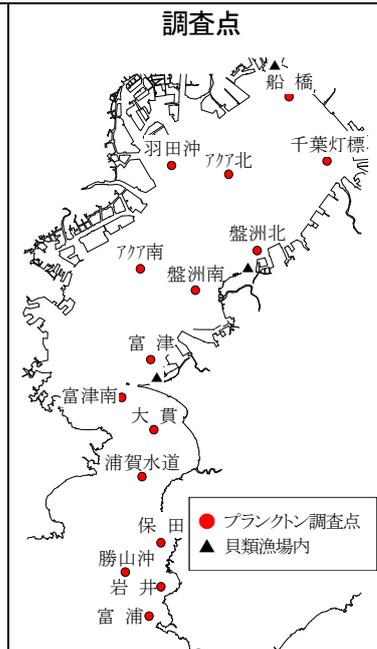
(貝毒情報は千葉県農林水産部水産局漁業資源課のホームページに掲載)

○ 各海域で見られたプランクトンの優占種

- | | | |
|---------|-------|-------------------------|
| 4/2-3 | 内湾・内房 | 珪藻ユーカンピア属, スケレトネマ属, など |
| 4/19-20 | 内湾・内房 | 珪藻リゾソレニア属, プレウロシグマ属, など |



ユーカンピア属
(4/2 船橋沖)



連絡先 : 千葉県水産総合研究センター 東京湾漁業研究所

〒293-0042 富津市小久保 3091 TEL 0439-65-3071 E-mail futtsu-sokuho@pref.chiba.lg.jp